井の頭恩賜公園開園100周年カウントダウン新聞

いのきちさん

井の頭　吉祥寺　三鷹

2号
2012年1・2月号

2012年（平成24年）1月1日

● 編集・発行
いのきちさん編集委員会
代表　川井信良
東京都三鷹市上連雀 1-12-17
株式会社文伸　気付
電　話 0422-60-2211
ＦＡＸ 0422-60-2200
メール inokichi@bun-shin.co.jp

● 協 力
東京都西部公園緑地事務所
東京都井の頭自然文化園
井の頭恩賜公園100年実行委員会
NPO 法人みたか都市観光協会
武蔵野市観光推進機構

● 制作支援
株式会社文伸 / ぶんしん出版

井の頭恩賜公園
開園100周年まで
あと5年4カ月

連載絵本　コイ太郎の巻　その2

コイ太郎のねがいを聞いたべんてんさまは「この池から流れ出す神田川を下ってごらん。」と教えてくれました。

大よろこびで神田川に流れ出す水門までやって来たコイ太郎が、その水門にアミがかけられているので困っていると、近くにいたカメ吉が「僕がてつだうからくぐり抜けて。」とアミをもち上げてくれました。

コイ太郎はやっと神田川へ出られました。

絵と文　せのうさちこ

せのうさちこ　1975年 盛岡市で生まれる。小6で三鷹へ転校。アニメ動画から絵本に進む。三鷹市在住

INFORMATION　2012年1月～2月

井の頭自然文化園

特設展示

●「Wonder Hut Returns ～どうぶつのふしぎがいっぱい」
1月2日（月）～ 11月25日（日）
場所：本園 資料館

●「メダカが教えてくれること」
2011年12月13日（火）～ 2012年2月19日（日）
場所：分園 水生物館 特設展示会場

お正月イベント

●**年間パスポートキャンペーン**
1月2日（月）～1月31日（火）（休園日を除く）
※売店・カフェで年間パスポートをご呈示いただくと、5%割引に！

●**園長と動物がお出迎え**
1月2日（月）、3日（火）　11：30～12：00

●**辰年クイズラリー「どうぶつえん龍伝説」**
2011年12月17日（土）～ 2012年1月8日（日）　各日 9：30～

●**新春くるみくじ**
1月2日（月）、3日（火）　各日12：00～　各日 先着100名

●**新春・浅草雑芸団**
1月2日（月）　11：00～15：15
新春を祝う「春駒」や「大黒舞」、物売り芸「バナナの叩き売り」「ガマの油売り」など日本の伝統的な大道芸の数々を、浅草雑芸団のみなさんが園内各所で披露します。

年末年始の開園日 ▶ 年末年始のお休みは、12月29日（木）～翌年1月1日（日）

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.tokyo-zoo.net/zoo/ino/index.html

井の頭恩賜公園

●**武蔵野吉祥七福神めぐり**
1月1日（日・祝）～10日（火）

詳しくはホームページをご覧ください。　http://www.musashino-cci.or.jp/

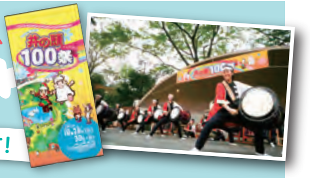
井の頭かんさつ会

●**第80回「冬鳥」**
1月29日（日）　9：30～12：00

●**第81回「冬の樹木」**
2月25日（土）　10：00～12：00

事前申し込みが必要です。
詳細や申し込み方法はHP http://www.kansatsukai.net/ に載せます。

『井の頭100祭』が開催されました



毎年カウントダウンでやりま～す！

昨年10月29日(土)・30日(日)、井の頭恩賜公園の100歳の誕生日に向けてカウントダウンするお祭り「井の頭100祭」が開催されました。野外ステージを中心に、アートマーケッツキャストの皆さんや地元で活躍されている皆さんにより、多彩なプログラムが繰り広げられました。2017年まで毎年開催していきます。みんなでお祝いしていきましょう。

アートマーケッツとヘブンアーティストな人々　その2

ブルームダスター・カンさん（ブルースシンガー）

近付いてファンサービス。
体にこすれた真鍮のギターが輝きます。

首からハーモニカを下げ、ギターをかき鳴らすと、辺りの空気が一変。ブルームダスター・カンさんの歌うブルースに、観客も体でリズムをとって応えます。

27歳の頃、エルモア・ジェームスにインスパイアされ、以来ブルースに没頭。うなり声には年季が入ります。「歌詞が韻を踏んでいて、自然とメロディになっていく。だから、英語オンリー」。観客には外国の人も多く、その一人が新聞記者だったことから外国人記者クラブで演奏し、好評を博しました。「本物のブルーズメン」と言われる由縁です。

定位置は吉祥寺駅からの公園の入口、七井橋のたもとの売店脇。池のほとりの柵やベンチが特等席で、年配の常連さんは腰掛けてライブを堪能します。小さな子が近寄ると腰をかがめて演奏し、若者が即興で指笛を合わせます。ひとしきり歌うと、「サンキュー」とつぶやいてライブ終了。遠方のライブにお声がかかったとき以外は、土日祝日に欠かさず公園に立ちます。

小田原 澪（おだわら みお）　編集者・ライター。フィールドは多摩。三鷹市在住

アートマーケッツは、主に土日祝日に開催しています。　※ 1月1・2日は開催しません。

今月のはな子

はな子の寒さ対策

寒い季節がやってきました。日本最高齢（65歳）のおばあちゃんゾウのはな子が寒さに負けず元気で暮せるように飼育係がいろいろと工夫をしています。秋までは毎朝8時半に運動場に出していましたが、冬の間は少しでも気温が上がってからということで9時半に「勤務開始」しています。また、戻す時間も早めにし、特に寒い日はお昼には暖房の効いた部屋に収容するようにしています。もちろん午後4時までは室内展示場ではな子を観覧いただけますが、その室内も、ビニールを張り巡らして隙間風を防いでいます。このような様々な冬支度の下で、はな子がさらに長寿記録を更新できるよう、皆さんも応援してください。

井の頭自然文化園飼育展示係長　山本 藤生

井の頭公園の生き物たち　その2　オナガガモ

井の頭かんさつ会　田中 利秋（たなか としあき）　井の頭かんさつ会代表。毎月自然観察会を開催。池の外来魚問題にも取り組む。

臨機応変 賢いカモ

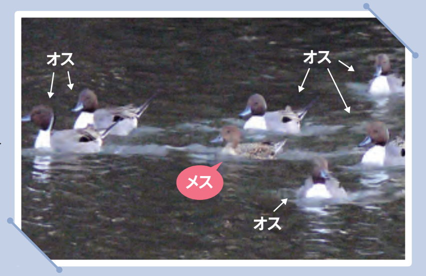
首が長いスマートなカモです。ロシア北東部で繁殖し、日本には冬越しと来期の繁殖相手を見つけるためにやって来ます。オスは、到着時はメスに似て地味ですが、ほどなく鮮明な繁殖羽に換わり、尾羽が細く長く伸びます。

一見似ているカモも、種類によって形や色に違いがあり、好きな食べ物や環境が異なります。オナガガモが好きなのは、本来はその体型が活かせる水が深めの場所だと思いますが、もっと好きなのは「エサやり」がある所です。ハクチョウを餌付けしている観光地で、ハクチョウがおびただしい数のオナガガモに囲まれている光景を見たことがあると思います。井の頭池に来始めたのは1970年ごろで、ピークの90年代には1300羽を超えたこともあります。来園者のエサやりがオナガガモを呼び寄せたのです。

2007年3月1日に「エサやり自粛キャンペーン」が始まりました。たくさんいたオナガガモは、その翌日は減りませんでしたが、翌々日に激減しました。近くのエサやりのある公園へ一斉に移動したのです。ほかにも、他の種類のカモの真似をしたり、新たな採食法を編み出したりと臨機応変で、頭の良さを感じさせるカモです。

現在の井の頭池のオナガガモは、自然文化園の水鳥の餌を頂戴するもの、たまにしか来ないエサやり人をあてにするもの、自分の力で地道に食べ物を探すものなど、さまざまな方法で暮らしています。エサやり自粛以前はいなかった神田川で採食しているものもいます。同じカモでも個性があるのです。以前と比べると激減した井の頭池のオナガガモですが、他の種類のカモとの違いや、個性の違い、頭の良さなどを観察するには十分です。手軽で面白いカモ観察をぜひどうぞ。

メス(中央)に求愛するオスたち。オスの尾羽が長くなったのは、より尾羽の長いオスがメスに選ばれ続けた結果だと言われる。



『いのけん』講座　答え合わせ

問題1
答え：a）2分の1
解説：井の頭池の全水量約6万トンに対して、湧き水は1日約3万トンもありました。2日で水が入れ替わる計算です。水が澄み切っていたわけですね。

問題2
答え：c）カルガモ
解説：カルガモは一年中いる留鳥で、井の頭池や神田川で子育てをします。初夏、可愛いヒナをたくさん連れた親子を見ることができます。

楽園はよみがえるか　カイツブリ通信

カイツブリは、得意の潜水で小魚やエビを捕まえる、小さな水鳥です。池や川にカップルで縄張りを作って暮らし、子育てをします。

02　冬のカイツブリ

前号で1羽になったと書きましたが、それが発刊されたころには2羽になりました。その後、3羽見たという証言もあります。秋から冬にかけてはカイツブリの移動が多い季節です。親元を離れた若鳥や、冬は凍りつく地方の成鳥が移動するからです。

冬、カイツブリは色が薄くぼけた感じの、いわゆる「冬羽」になります。しかしカモのように一気に換羽することはなく、しかもその時期は個体によりまちまちです。井の頭池のカイツブリは2009年と2010年には1月に卵を産み、子育てをしました。水温が下がるとブルーギルの動きが鈍くなり、たくさんいる稚魚を捕食できるようになるからです。そのときのカップルはずっと「夏羽」のままでした。カイツブリがいつ換羽するかは個体の繁殖意欲によって変わるのです。したがって、「夏羽」「冬羽」でなく、「繁殖羽」「非繁殖羽」と呼ぶのが正しいです。

今見かける井の頭池のカイツブリは皆、写真のように非繁殖羽です。この冬に子育てをするカイツブリはなさそうです。

井の頭かんさつ会　田中 利秋　http://homepage2.nifty.com/tnt-lab/

写真　古賀 親宗（こが もとのり）
1983年 福岡県柳川市生まれ。三鷹市在住のフォトグラファー。

『いのきちさん』について

都立井の頭恩賜公園が2017年5月に開園100周年を迎えます。『**いのきちさん**』は、もうすぐ100歳を迎える井の頭公園に、感謝の気持ちを込めて、地域の市民と企業と団体の協力により発刊された100周年カウントダウン新聞です。名称は**井の頭公園の**「**いの**」、隣接する**吉祥寺の**「**きち**」、井の頭池が市内となる**三鷹市の三**「**さん**」を並べたものです。

（当面隔月発行となります。）

『いのきちさん』のホームページができました！更新中！
http://www.inokichisan.com/
スマートフォン対応

『いのきちさん』を置いていただける所を募集しています。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
VEGETABLE OIL INK

私と井の頭公園その2

針葉樹がうっそう 深山幽谷の様相

鈴木 育男（武蔵野市在住）

もう75年前になりますが、5歳くらいから井の頭公園で遊んでいました。僕の遊び場でしたね。当時の井の頭公園の形そのものは、今とそう変わらないけど、木が違う。針葉樹がうっそうとしていたんです。湖面に霧がすうっと流れていてね、それはまさに深山幽谷の様相でしたよ。それが、昭和19年20年に伐採があり、戦後、今のような広葉樹が植えられたわけです。伐採した木は、戦争で亡くなった人の棺おけに使われた、といううわさは多分本当でしょう。

それとね、やはり池の水。とにかくきれいだった。七井橋から池の中をのぞき込むとね、池の水が川のように流れている。それは水草で分かるんですよ、たなびいているから。多分湧き水が強く噴き出して流れを作っているんじゃないかな、それはそれはきれいでした。

池ではいろいろなものを捕りましたよ。エビ、タナゴ、クチボソ、ダボハゼ、ゲンゴロウ、それとミズカマキリもいたなあ。ひょうたん池のすぐ先の神田川ではウナギも捕れたんですよ。釣糸に絡み付いてね、びっくりした。それとイモリ、お腹が赤いアカハライモリです。気味が悪いのが釣れてしまって怖かったけど、今思えば一番の思い出かな。（笑）

戦時中は空襲がありましてね、何発も池や周辺に落ちたんですよ。それも時限爆弾でね、夜の空襲（編集者注）の後、朝になって避難先から家に戻ったら公園の方からボンボンと爆発音がして土煙が見えるのですよ。戦後しばらくは不発弾処理が続きましたね。

物心ついてから75年間。このまちに井の頭公園がないとしたら寂しいですね。ここ最近の吉祥寺の人気は井の頭公園の存在によるところが大きいと思いますよ、それだけに、昔のようにきれいな池に戻って欲しいし、あのアカハライモリにも会いたいと思うけど、無理だろうな。

でも、今日も女房と公園に行ってきました。私にとってはなくてはならない存在ですね。（談）

（株式会社らかんスタジオ 取締役会長）

（文　川井 信良）

編集者注（一九四五年）四月二日未明に行われた夜間空襲は、（略）「夜間精密爆撃」の一つであり、中島飛行機武蔵製作所を「第一目標」とする作戦であった。（略）犠牲者は二五〇名以上に及んだ。（略）この空襲については、大量の「照明弾」ならびに「時限爆弾」を使用している。
『戦時下の武蔵野Ⅰ』牛田守彦著／ぶんしん出版刊 より

よみがえれ井の頭池 2

在来種の魚たちがひょうたん池にお引越！

▲西園のプールから引越

去る11月13日（日）、魚のお引越が行われました。西園のプールからひょうたん池に移住したのは、モツゴ約1200匹、トウヨシノボリ約200匹、ヤゴ約30匹。

これらの水生生物は、2008年に井の頭かんさつ会が、ブルーギルやブラックバスなどの外来生物の脅威から保護するために、長年使われていなかったプールに井の頭池から避難させたもの。その時はモツゴ58匹、トウヨシノボリ4匹だけでしたが、それがここまで増えていたのです。

今回の大引越は、プールが取り壊されることになったため、複数の団体がネットワークする『井の頭外来生物問題協議会』が8月から議論し、周到な準備を重ねて実現。移住先のひょうたん池には、ブルーギルやブラックバスが入ってこないよう、事前に透水シートの遮蔽が設置されました。

近くを通ったときにはぜひ、モツゴが群れ泳ぐ姿をのぞいて見てください！

井の頭恩賜公園の歩み 第2話

池の名づけ親は、三代将軍家光だった!?

春の井の頭公園といえば桜で有名ですが、歴史的に注目したい樹木のひとつにコブシも挙げられます。ソメイヨシノに先駆け、池端のあちこちに白い可憐な花を咲かせます。

伝説で、三代将軍家光が「井之頭」と小柄で彫りつけたとされるのが、このコブシの樹。それが池の名の起源とされています。

『東京市史稿水道篇』に掲載されている茶臼と木片の写真。　写真提供：国立公文書館

◀『四神地名録』は、古河古松軒が幕府の依頼で江戸近郊の地理・歴史情報をまとめた書物。

写真提供：国立公文書館

江戸時代、この辺り一帯は幕府の「お鷹場」で、「御殿山」の地名も、徳川家光が鷹狩りの際に宿所を設けたことに由来すると言われます。

江戸幕府の公式記録『徳川実紀』には、寛永2年（1625年）、家光一行がこの辺りで遊猟し、鹿43頭を仕留めたと記されているので、家光が池にも立ち寄ったことは大いにありえると考えられます。

とはいえ、家光が「井之頭」の名づけ親だったという確証はありません。弁財天の持ち寺である大盛寺の記録『神田御上水井之頭弁財天略縁起』には記されているのですが、これはあくまでお寺の記録。公式な史実とはみなされないのです。

18世紀後半にここを訪れた地理学者の古河古松軒（ふるかわこしょうけん）も、「由緒があるというけれど弁天堂の祠も修理されておらず、井之頭と彫ったコブシの木片もすでにないから『略縁起』に書かれていることは疑わしい」と『四神地名録』に記しています。

でも面白いことに、大正8年（1919年）発行の『東京市史稿水道篇』に掲載された写真に、家光が彫ったとされる木片と、家康が寄贈したとされる茶臼が写っているのです。さて、これは本物か偽物か？いずれにせよ、大正13年（1924年）の火災で木片は弁天堂とともに焼失し、茶臼は現在もお堂に保管されているそうですが非公開。もちろん伝説の真偽は知るよしもありません。

ちなみに、家光の命名説が記された石碑が、弁天堂からやや離れたところにあります。石碑を寄進したのは、『深川水船組合』で、明治26年（1893年）のこと。「水船組合」って何？それがどうしてこんな石碑を？……というお話は、またの機会に！

安田 知代

安田 知代（やすだ ともよ）
編集者・ライター。『井の頭公園＊まるごとガイドブック』『懐かしの吉祥寺 昭和29・40年』編著。「まちエネ＋＋プロジェクト」主幸（www.tassetasse.jp）。

『いのけん』（井の頭公園検定）講座

現在、NPO法人みたか都市観光協会と武蔵野市観光推進機構の共同主催で、第1回井の頭公園検定（通称『いのけん』）の実施準備が進んでいます。『いのきちさん』で誌上講座を連載しますので挑戦してくださいネ。

問題1（3級）… 井の頭池の湧き水が豊富だった時代、1日の湧き水量は池の全水量の何分の1ぐらいあったか？
a）2分の1　b）6分の1　c）12分の1

問題2（3級）… 井の頭で子育てするカモは次のどれ？
a）オナガガモ　b）コガモ　c）カルガモ

答えは裏の面にあります。